

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名		山梨県立ハヶ岳牧場					
指定管理者		(財)山梨県子牛育成協会		所管課	畜産課		
指定期間		平成18年4月1日～平成23年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)		<p>受託放牧 本県畜産振興に寄与するため、農家家畜を受託放牧すること。 県有肉用牛の改良増殖 本県肉用牛生産を振興するため、県有牛を改良増殖し、繁殖素牛・肥育素牛を供給すること。</p>					
指定管理者が行う業務		<p>利用の承認に関する業務 施設等の維持保全に関する業務 家畜の飼養管理及び改良増殖に関する業務 牧草の栽培に関する業務 家畜排せつ物の堆肥化に関する業務 その他知事が必要と認める業務</p>					
維持管理業務の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容			
		適正に実施し施設・設備の維持管理に努めている。修繕等についても県の承認を受けて、適正に管理を行っている。		施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。引き続き事業計画に沿った業務を適正に執行されたい。			
運営業務の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容			
		生産子牛の売却は計画以上の実績を上げることができた。受託業務では、概ね計画どおりの受託を行うことができた。夏期利用の推進等により受託増頭に努めるとともに、巡回指導の内容充実にも努めたい。家畜排せつ物処理では、計画以上の販売実績であった。		事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。引き続き事業計画に沿った業務を適正に執行されたい。			
自主事業の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容			
利用者満足度調査	調査結果	満足度		利用者の声			
	評価	<p>家畜の受託に対する満足度:100% 県有家畜の売却に対する満足度:85.7% 堆肥の売却に対する満足度:87.5% 総合評価:85.4%</p>		<p>家畜の受託について定期的な体重測定値を知りたい 県有牛売却について飼養管理履歴が必要。増体率の改善を希望。</p>			
利用実績	利用者数	H19年度実績(頭)	H20年度計画(頭)	H20年度実績(頭)	H21年度目標(頭)		
	評価	117,516	120,000	109,102	120,000		
		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容			
		県内の飼養戸数・頭数の減少傾向の中で、冬期受入頭数の増頭等、預託利用推進を図ったが、利用頭数が減少した。引き続き、積極的にPR活動を行い、利用頭数の確保に努める。		19年度実績に比べ、利用頭数が減少している。引き続き年間受託家畜利用延べ目標頭数を確保するよう努めること。			
収支の状況	収入	科目		H20年度計画額(円)	H20年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H21年度計画額(円)
		利用料金収入	42,064,000	41,102,030	961,970	42,064,000	
		指定管理料	189,916,361	189,916,361	0	190,988,684	
		その他収入	0	0	0	0	
	計	231,980,361	231,018,391	961,970	233,052,684		
	支出	231,980,361	232,381,527	-401,166	233,052,684		
差し引き(収入-支出)	0	-1,363,136		0			
評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価			
		飼料・肥料等の生産資材や燃料費・光熱費等が高騰する中で、人件費の削減や経費節減に努め、支出合計はほぼ計画額である。今後も引き続きコスト削減を図り安定経営に努める。		利用料金収入は目標額を下回ったが、生産関連資材等の高騰の中で、支出削減を図ることにより収支バランスが取れており、安定した経営であった。			
施設の運営目標の達成状況		<p>年間利用頭数は目標値の91%となっており、目標は概ね達成されている。今後、夏期の利用頭数を増加させることにより、年間延べ利用頭数の向上が可能である。県有牛の育成状況は良好であり、売却頭数は目標の年間130頭を超えた。</p>					
総合的な評価及び改善事項		<p>各種業務は適正に実施されていた。引き続き、積極的なPR活動、夏期利用頭数の増加及び巡回指導内容の充実を図り、年間受託家畜利用延べ目標頭数を確保するよう努めること。 引き続き、需要者(農家)の要望を最大限取り入れながら和牛と堆肥の生産及び売却に努めるとともに、売却予定牛に関する正確かつ迅速な情報提供に努めること。</p>					